



学校だより



5月号

令和7年4月30日
江戸川区立瑞江小学校

令和の時代の運動会

副校長 小出 紀幸

新年度が始まって最初の1か月が過ぎました。1年生は給食が始まり、準備や喫食にかかる時間は徐々に短くなってきました。連休明けからは5校時の授業が始まります。上級生たちは4月当初は「3年…あっ、4年◇組の〇〇です。」とよく学年を間違えていましたが、今ではそんなこともほとんどなくなりました。5・6年生の委員会活動やクラブ活動も、新たなメンバーでの活動が始まっています。

5月24日(土)には運動会があります。担任は4月中旬から指導の計画を話し合い、準備を進めています。連休前から少しずつ、そして連休明けには本格的に運動会練習が始まります。

運動会は日本の小学校で永らく行われてきている伝統的な学校行事です。昔はまる1日かけて色々な競技や演技があった、と懐かしむ人も多いと思いますが、近年の運動会は様々な事情を考慮して短時間化や簡略化が進んでいます。

○熱中症対策…この数十年で気温は確実に上昇してしまいました。運動会の実施(練習期間も含む)に適した時期は熱中症の危険がつきまとう気温です。1日中児童を校庭で過ごさせ、運動に取り組ませることは難しくなりました。

○子どもの体力…社会環境や生活様式の変化などにより、運動の機会の減少や生活習慣の乱れが生じ、子どもの体力や運動能力は長期的に低下傾向にあります。運動会の種目数や練習量も、子どもの体力を踏まえて検討、計画しています。

○教員の働き方改革…昔の盛大な運動会は、実のところかなりの量の教員の超過勤務(サービス残業)によって成り立っていました。社会全体で働き方改革が進む現在、膨大な超過勤務を前提とした取組は見直していく必要があります。

○PTA・保護者の方々…運動会はPTAや保護者の方のたくさんの協力があって実施できていました。瑞江小の運動会も日除けのテント立てや当日の受付や誘導、片付けなど様々なご協力をいただいています。ただ、年々そういったご協力をいただける人数は減少傾向にあるため、準備や運営面の簡略化も必要です。

運動会は子どもたちも楽しみにしている大きな行事です。体育の学習の成果を披露する機会であるとともに、友達と協力したり話し合ったりして演技や競技などを作り上げていく大切な取組です。昨今の事情を踏まえつつも、最大限よい行事にしていきたいと思います。保護者の皆様のご来校、お待ちしております。体が暑さに慣れていないので、熱中症には十分お気を付けください。